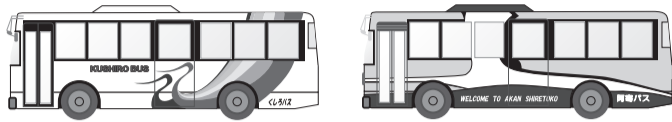


釧路市の「交通まちづくり」について

人口減少や少子高齢化など、社会全体が大きな転換期を迎えている今、過度に車へ依存する生活習慣を見直し、日常生活に欠かすことができない移動手段である公共交通を確保するため、「交通まちづくり」について一緒に考えましょう。



問合せ先 市役所都市経営課企画担当 (☎31-4502)



■公共交通って、なに？

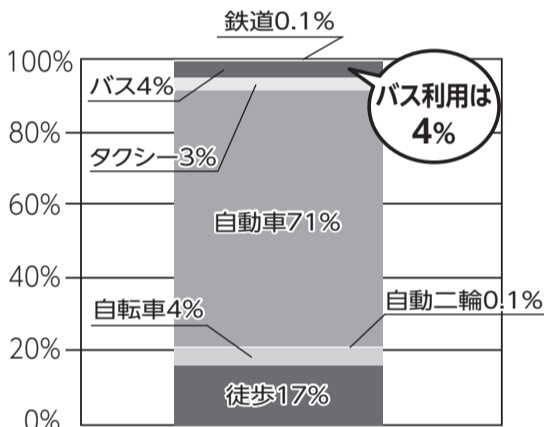
バスや鉄道、タクシーなど、誰もが利用できる交通手段が公共交通機関です。
最近では、自治体などが運行するコミュニティバスや、事前予約で運行するデマンド型（※）交通もあります。
※デマンド型：利用者の要望に応じ、運行ルート・時間・乗降場所等に対応するサービス。



■どうして、交通まちづくりを考えるの？

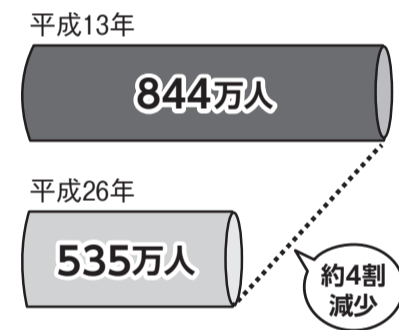
車を持たない人や高齢で運転が難しい人、学生の皆さんにとって、日常生活に欠かせない大切な移動手段がバスをはじめとする公共交通機関です。しかし、バスの利用者は交通手段の利用状況では全体の4%しかなく（図1）、利用者も約10年前と比べると約4割近く減少しています（図2）。バスの利用者が減少し路線の維持が難しくなると、路線の縮小などによる利便性の低下でますます利用者が減り、その結果、路線が維持できず路線の廃止という負の循環に陥ってしまいます（図3）。
そうならないように、バスの利便性向上による利用促進や、運行の効率化、環境や健康面への好影響といったことも含め、市民の皆さんや交通事業者、行政が課題を共有し、これからの釧路市の姿に見合った交通について知恵を出し合い、持続可能な公共交通を目指したまちづくりについて考えていく交通まちづくりが必要となります。

図1 交通手段別の利用状況



資料 釧路都市圏総合都市交通体系調査 (H22)

図2 バス利用者の推移



資料 北海道運輸局釧路運輸支局



■交通まちづくりで、どんな釧路市を目指すの？

交通まちづくりの将来像としてのマスタープランである「釧路市地域公共交通網形成計画」を策定し、都心部のにぎわいやコンパクトなまちづくりにおける拠点間の連携を支え、市民の健康で安心な暮らしと、持続可能なまちを支える交通体系が構築された釧路市を目指します。



■釧路市地域公共交通活性化協議会

市の交通まちづくりについて、連携して検討、推進するため、交通事業者、学識経験者、利用者の代表、行政等で構成する協議会として、今年3月22日に設置し、これまで2回の会議を開催しています。



- ・第1回目（平成28年3月22日）
協議会の設置趣旨、取組方針、事業計画案等の協議
- ・第2回目（平成28年6月8日）
各種調査の実施概要、全体スケジュール等の協議
会議の中では「若者など、バスの利用が進むようなまちづくりを考えていくことが重要」などの意見が寄せられています。
概要は市ホームページをご覧ください。

■計画策定に向けた各種調査の実施

ご協力ありがとうございました

7月に、市内を運行する全路線バスの利用状況を把握するためのバス利用実態調査、8月には、市民の皆さんの公共交通へのニーズを把握するためのアンケート調査を実施しました。調査結果については、今後お知らせするとともに、計画の策定に反映していきます。

車で行動することが多い方は、たまに公共交通機関を利用してみませんか？
少し歩くことで、健康づくりにつながり、いつもとは違った景色を楽しむことができますよ。

